

下京のひびき

市民しんぶん下京区版

2・15

推計人口	男	女
73,609人	34,202人	39,407人
世帯数	36,927世帯	
(平成16年1月1日現在)		



榎本頼兼市長が3選

2月8日に行われた京都市長選挙で、現市長の榎本頼兼氏が当選。京都市の更なる発展に向け、引き続き市政の舵取りを担うことになりました。榎本市長は、平成8年2月の市長就任以来、「徹底した市役所改革」と「パートナーシップによるまちづくり」を基本とする市政を推進。3期目に向けては、2期8年間の実績を踏まえ、147万人の市民生活の安心・安全を将来にわたってしっかりと確保し、世界に誇る「光り輝く京都」を築いていくことを表明。そのため、3つの重点戦略、7つの基本政策・111の政策を盛り込んだ「ますもとマニフェスト(市政契約)」を掲げました。市では、榎本市長を先頭に職員が一丸となり、市民参加を基本として市民生活を守るとともに、将来の京都の発展に必要な政策を推進し、市民の皆様の期待と信頼に応える市政を実現していきます。

市民生活の安心・安全を確保し
世界に誇る「光り輝く京都」を実現

3つの重点戦略

- ①京都市・都市経営戦略の推進
- ②国家戦略による京都創生の実現
- ③京都市版・安心安全ネットの戦略的推進

7つの基本政策と111の政策

- ①行財政改革と市民参加の推進
大胆・迅速な行財政改革(職員千人削減を目標に人件費総額縮減・ごみ減量によるクリーンセンター1工場減他)の更なる推進。全審議会の公開。市政総合案内「京都コールセンター」の開設。右京区・伏見区総合庁舎の整備他。
- ②歴史都市・京都の創生と美しいまちづくり
「歴史都市京都再生特別法(仮称)」の制定。電線類地中化の集中実施。街路樹里親制度の創設。まちの美化を推進する「京・華やき隊」の創設。京都国際マンガミュージアム(仮称)の開設他。
- ③産業・経済の活性化と5千万人観光都市の実現
中小企業向け無担保保証人型新融資制度の創設。ベンチャー育成と企業誘致の促進。産業技術研究所の開設。伝統産業活性化条例(仮称)の制定。外国人観光客5大重点市場への情報拠点の設置他。
- ④子育て支援の充実と次代を担う子どもたちの教育環境の整備
保育所・学童保育待機児童の解消。小児救急医療体制の充実。30人学級の導入。小・中学校の全普通教室冷房化・パソコン導入。市民ぐるみで子どもを育む「みやこ子ども土曜塾」の創設他。
- ⑤安心・安全で健やかにくらせる福祉のまちづくり
「京都市版・安心安全ネット」戦略プランの策定。地域安心安全ネットの構築。特別養護老人ホーム等介護基盤の整備。市立病院の再整備。中学校グラウンドへの夜間照明の設置。右京中央図書館の整備他。
- ⑥環境先進都市をめざす総合的な環境政策の推進
地球温暖化防止条例(仮称)の制定。全区役所でISO14001認証取得。エコドライブの促進。「水共生プラン」の策定。「京のごみ戦略21」によるごみ処理処分量の20%削減。びんの拠点回収・資源ごみの分別収集他。
- ⑦市民生活と経済活動を支える都市基盤整備と歩くまちの実現
幹線道路網・橋りよりの整備。天神川駅・二条駅周辺整備事業の推進。JR嵯峨野線の複線・高架化。LRT等新公共交通システムの検討。高度集積地区の産業支援等複合施設整備基本計画の策定他。

